

曾かつて福田元総理大臣は、自民党総裁公選で敗れた際に、「天の声にも、時たま変な声がある」という名言?を残した。この言葉に悪乗りするわけではないが、私は先月行わられた体育祭で、「挨拶に時たま変な声がある」と

育祭では常に殿の主役と相場が決つていて、惨めな思ひ出しか残つてない。▼こんな私の気持を見透かしてか、チームメイトは異口同音に「町長、参加することに意義有りですよ。」「みんなは町長が走るところを見たがつているんですよ。」などと盛んに励ましたり、宥めたりしてくれるのであるが、そのくせ、チームによつては女性も混つてゐるので、「女にだけ負けたくないよな。」などと本音をもらしているのである。気づかいは有難いが、冗談ではない。走るからには、格好よく、誰よりも早く走りたいと思うのが、男の、いや選手誰もが持つ心情である。私とて、毎回惨めな格好はしたくない。今年こそいささかなりとも格好のよいところを見せてやろう

と心中秘かに期していた。私は咄嗟にしめたと思つた。何はなら、追い抜かれる心配はないと判断したからである。実は、三年ほど前に、やはりこの種

号砲一発、スタートを切った途端、今までの和氣藪のムードからみんなの顔が闇う形相に一変した。「参

町長

ひとりごと

94

斎藤

譲



のかも知れない。いずれにしろ順位はとも角として、前の走者とはかなりの距離があり、後もよほど離れていた。私は咄嗟にしめたと思つた。何はなら、追い抜かれる心配はないと判断したからである。実は、三

年ほど前に、やはりこの種の走りは快調そのものであるからよもや追い抜かれるなどとは夢にも思わなかつたのである。チラリと横を見れば、大男の東陽病院の高野事務次長である。何としたことか。いくら彼が若くてスポーツマンだとはいえ、まだ半分の距離を走つただけで、あれだけの差を縮められてしまつたとは。くやしいと思うと同時に、観衆はどんな目で、この様子を見てゐるのだろうかとふと氣になつた。目立ちたがりなどと言う勿れ。男ならどんな勝負にも勝ちたい一念であり、本人は真剣なのだ。

二十歳も先輩である市原体育協会長に易易と追い抜かれた苦い思い出があるからである。バトンを受けた直後は、亀の如き姿で一人力量でいたに過ぎなかつたのである。こんな亀に高塙次長は「お先に失礼します」と懇懃に声をかけ

ていた。変なところで変な挨拶だ。その心如何。私もできることなら、身の力を振り絞つてゐるの

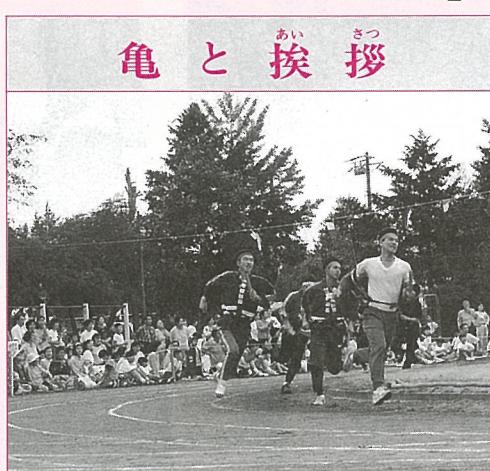
は今までになくスピードに乗つていて、さぞかし颶かり力が入つて、足は頓挫とした走り振りだらうと、自分では思つていた。

▼ところがである。五十メートルほど走つてコーナーに差しかかつたとき、「お先に失礼いたします」と軽

くに地を踏み、まるで天を駆けるように彼の大きな背中が、見る見る小さな背中が、見る見る小さくなつてゴールに飛びこんでいた。

▼その姿を、十メートル以上も後方で見た瞬間、緊張の糸が、ブツンと音をたてて切れたような気がした。今回もまた、格好悪い結果になつてしまつた。後になつて、役場の女子職員が私にこう言った。

「町長、足は出なかつたけれども、首は大部出ていましたよ。」してみると、自分では颶爽と風を切つていたつもりでも、悲しいかな実際は、亀の如き姿で一人力量でいたに過ぎなかつたのである。こんな亀に高塙次長は「お先に失礼します」と懇懃に声をかけ



亀と挨拶

実は、体育祭で毎年行われる種目の一つに、四十年以上で構成する各種団体八百メートルリレーがある。私も毎回本部役員チームの一員として出場しているのであるが、今年はアンカーを指名された。元来運動神經が鈍く、駆足競争はとりわけ苦手な種目である。小学校からはじまって学校の運動会、体

負けるかの厳しい世界であることを、こんな親睦の競技の中で思い知らされた。

▼さて、いよいよアンカー登場である。わがチームは好調に三、四番手で入つてきた。いや、緊張の極に達していたので、そう見えた

る風の気配からして、今年は